

社会福祉法人塩釜市社会福祉協議会
令和元年度 第6回 特別養護老人ホームこころの樹 運営推進会議
議事録

1. 日 時 令和2年2月18日（火曜日）
開会 午後2時～ 閉会 午後2時28分
2. 場 所 特別養護老人ホームこころの樹
3. 出席者 中里 英夫（入居者代表）
佐藤 稲子（地域住民の代表者）
石崎 可奈子（市役所職員）
田中 京子（地域包括支援センター職員）

特別養護老人ホームこころの樹
杉船由紀枝施設長 星幸子生活相談員

社会福祉協議会
遠藤常務

欠席者 ー

1. 開 会

2. あいさつ （遠藤常務）

3. 協 議 （要旨）

①近況報告（杉船施設長・星相談員）

- ・ 入居者27名。内1名入院中。
- ・ 12/25より看取り対応となった入居者が12/29に死去。
- ・ 入院していた2名が退院。まだ落ち着いていない状況。
- ・ 2名の方の入居が決定、1名は入居済、1名は診断書待ちである。
- ・ 2月に入り転倒事故が発生し、入院中。原因究明、再発防止に取り組む。
- ・ 短期入所は、12月の新規利用が4名、1月が1名。ほとんど満床に近く稼働している。稼働率は12月111.0%、1月100.7%で空床の利用もあった。大きな体調変化や事故もなく過ごしている。

- ・ 12/2、コラソンという団体により施設内清掃が行われた。お土産までもらい入居者も喜んでいて。12/8、マグロすき身丼を提供。
- ・ 12月は各ユニットでクリスマス会を開催。
- ・ 12/30、ホールに神社を設置。12/31は年越しそば風の昼食を提供。1/1は、正月お祝いおせち膳を提供。
- ・ 1月末でパート職員1名が腰痛のため退職。11月採用の新人職員は独り立ちできている。
- ・ 2/12、宮城県の指導監査及び実地指導があった。運営、会計、管理処遇、記録等に指導・助言をいただいた。指摘があった部分は改善に努めたい。

(中里委員)

マグロ丼は美味しかった。身が分厚かった。

(杉船施設長)

入居者の食形態がそれぞれ違うので、切り身の方、ほぐす方、たたく方、さまざま。12月に亡くなった方が喜んで食べていたのが印象に残っている。塩釜の方には喜ばれるメニューの一つ。

(中里委員)

ここのコロケも美味しい。歯ごたえがある。前の業者より好みだ。

(杉船施設長)

さまざまなメニューを出しているように感じる。前の業者の時、軟菜食に取り組んだ時期があった。しかし、軟菜食へ適する食材が少なく、それが通常メニューへも影響を与えてしまっていたのもそう感じる一因。

(遠藤常務)

長期入居者27名、うち入院1名とあるが、入院期間は？

(杉船施設長)

約1ヵ月だ。

②年間行事案について (杉船施設長)

(資料「令和2年度こころの樹年間行事予定表」を説明した)

(杉船施設長)

これまでやってきた「手作りおやつの日」は「お楽しみ会」に改め、各

ユニットで自由に企画できるようにした。外出が困難な中、季節を感じられるような構成になっている。

(中里委員)

コロナウイルスの感染拡大が騒がれている。クルーズ船に宮城県の方が乗っているかもしれない。長期間閉じ込められていたら、他の病気にかかるのではと思う。

(杉船施設長)

最近、若干の影響が出ている。マスクや消毒液、使い捨て手袋等に関して出荷制限がかかり、手に入らなくなっている。

(佐藤委員)

ハンドソープは売っているが、アルコール消毒品が買えない。中国で製造している容器が入って来ないらしい。

(杉船施設長)

3月分くらいは確保してあるが、状況が延びると不安である。業者に問い合わせしているが、集まらない現状。面会は制限をしている。家族もその状況には理解している様子だ。インフルエンザ以上に気にしている。

(中里委員)

医師や看護師まで罹患している。

(佐藤委員)

マスクは使い捨てか？

(杉船施設長)

その通り。職員も12月から感染症対策はしっかりやっている。仕事前には検温して記録、アルコール消毒をしてから勤務をしている。

(石崎委員)

インフルエンザの発生はあるのか？

(杉船施設長)

ない。2年連続でなし。

(中里委員)

最近は地震も多く不安だ。

4. 事務連絡 次回は 4 月 14 日 (火) 14:00 から

5. 閉 会